

Ureshino
nsen
Hospital
Since 1965

風だより

vol.78

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院



contents



- 02 目次と理念
- 03 理事長の挨拶
- 04 POS医療学会関連の当院の取組
- 05 地域連携室通信
- 06 西日本芸術療法学会・ふれあい看護体験
- 07 新任医師(渡邊Dr)紹介・優良ドライバー表彰
- 08 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

友朋会の理念 『患者さまのために』

基本方針

- 1 患者さま一人ひとりの立場になって、提供すべき医療・福祉を考え実践する
- 2 愛情のある医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 患者さまの退院支援・生活支援・就労支援において更なる向上を図る
- 4 芸術療法を実践する
- 5 治療空間としてアメニティーを重視する
- 6 地域に必要とされる医療を実践する
- 7 認知症への取り組みにおいて地域のリーダーとなるよう努力する
- 8 児童・思春期の精神医学分野においてその専門性を高める
- 9 院内におけるチーム医療および地域の関係諸機関との連携を強化する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さまの自己決定権を尊重する
- 2 患者さまが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さまがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さまに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さまに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さまに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さまの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さまの尊厳を保つ
- 9 患者さまの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さまの個人情報を守る

ご挨拶とお詫び

本年、3月2日20時54分に、当院西2病棟において、お二人の患者様の尊い命を失う火災事故を起こしましたことに、患者様、患者様のご遺族、ご親族の皆様方に衷心よりお詫び申し上げます。私をはじめといたしまして職員一同、お二人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。現在も引き続き、誠意をもって真摯にご家族様に向き合わせていただいているところでございます。そして、入院治療中ならびに外来受診中の患者様方、地域の皆様方、県内の医療機関の皆様方、精神科病院協会の皆様方には大変ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今回の事故にもかかわらず、地元の皆様、全国の皆様から、たくさんのあたたかいお言葉をいただきました。皆様方のお心遣いに支えられて、厳しい状況に向き合っていく勇気をいただきました。

心より感謝申し上げますとともに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。「患者さまのために」という当会の理念に恥じない行動は何かということを常に考えながら、事故後の対応に思いを尽くし、行動しております。今後とも、どうぞご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

理事長 中川龍治

第36回日本POS医療学会大会参加報告

看護部 東1病棟 松尾 智子

平成26年6月28・29日の2日間の日程で学会へ参加してきました。

今回の学会会場は寛一お宮でも知られる静岡県熱海市でした。

テーマは「ともに考え築く医療と医学」教育講演・招待講演・シンポジウムセミナーなど盛りだくさんの内容でした。また会場はホテルニューアカオの熱海コンベンションホールオーシャンビューの会場でした。梅雨の真ただ中の学会ではありましたが、2日目はいい天気にも恵まれ会場からは熱海の海が一望でき解放感あふれる場所でした。

今回の研修では病院にPOS認定士を増やすための研修でもありましたので、谷口先生と私松尾に加え初めて白川師長・副島主任にも参加してもらいました。講演の中では「時間がない」からなんでもできる！時間密度を上げる33の考え方ワークショップでは的確、簡潔、時間内に記録を終わるための検討などまさに当院で今後取り組まなければならないテーマについて考えることができ、今年度より取り組むPOSの教育に役立つ内容で大変満足いく研修でした。

さらには、今後の課題も見つかり大いにディスカッションができました。研修の内容は満足でしたが、初めて行く熱海の地私たちはさぞやにぎやかな所だろうと期待して現地入りしました。前日の夜20時ごろ到着したが熱海の駅は真っ暗、近くの商店街はシャッターが閉まり、マックでさえ閉まっていて、ビックリが最初の感想でした。

翌日はシャトルバスで会場まで移動しましたが、少しずつ海が開け繁華街へ行きやと「熱海に来たー」とおもいましたが、うん？なんか見たことある景色と感じたのは私だけ？そう熱海は、長崎県の小浜みみたいなところだったのです。みなさんも「アーツ」と納得していただけたでしょうか。

そして、もう一つこの研修でえーっと思ったこと、それは、研修1日目の懇親会のこと、会場に「ミス熱海」が来ていて挨拶をされてたことです。しかし、このミス熱海と写真をとり一番喜んでるのが白川師長で翌日の研修も意欲的でしたよ。ミスもいろいろあるけれど、とてもきれいな人でしたので記念写真を撮りました。

来年は今回研修に参加した2人が認定士の受験をし資格を取得し、認定士としての活動に参加してくれるので、ますますの記録の充実が図れると期待します。

これからも、院内で記録の充実に向けて積極的に活動していき、さらには多くの方に研修へ参加していただき、認定士を数を増やしていければと願っています。今回は研修に参加させていただきありがとうございました。



複雑系適応型システム

エンジニアや建築家よりの農業者の思考がより役に立つ

- 自分たちの限界を知っている
- その上に立って、農業者はこれまでの経験から得た知識とエビデンスに基づいて最適の収穫を願う
- 最終的に農業者は、よい収穫が得られるような条件を創り出すにすぎない。
- 結果は、自然というシステムの偶発的特性の産物であり、詳細に予測することはできない

地域連携室通信

嬉野温泉病院では、相談窓口として精神科と一般診療科のそれぞれに「地域連携室」を設けております。当院地域連携室の担当者はソーシャルワーカーのみで構成されており、患者さま・ご家族などからの相談対応や地域の医療機関・福祉施設の皆様との連絡調整などに特に力を入れて取り組んでいます。今回は当院地域連携室担当者が有している国家資格の「精神保健福祉士」、「社会福祉士」について、簡単に紹介させていただきます。

「精神保健福祉士」とは

精神保健福祉士は、1997年に制定された「精神保健福祉士法」という法律に基づいて生まれた国家資格です。一般的には精神障害者福祉施設や精神科病院などに勤務して、精神障害者の方が社会復帰をめざす為に、日常生活を送る上での問題・悩みを解決する手助けや社会参加に必要となる様々な手助けを行う専門職とされています。

当院では、受診や入院の相談・経済問題や日常生活に関する相談・就労に関する相談・その他様々な相談の受付・対応や障害年金・精神保健福祉手帳・自立支援医療制度などの各種福祉制度利用に関する手続きの支援、地域の関係機関との連絡・調整などを行って、患者さまだけでなくご家族の不安や負担の軽減に努めています。

「社会福祉士」とは

社会福祉士は、1987年に制定された「社会福祉士及び介護福祉士法」という法律に基づいて生まれた社会福祉業務に携わる人の国家資格です。一般的には福祉施設や病院、行政機関などに勤務して、高齢者や障害者など日常生活上様々な問題を抱えた方たちに対して、福祉に関する相談にのったり、問題を軽減する為の手助けなどを行う専門職とされています。

当院では入院の相談の他、経済問題に関する相談・退院後の生活に関する相談・その他様々な相談の受付・対応や介護保険・自立支援医療等の各種福祉制度利用に関する手続きの支援などを行い、患者さまやご家族の入院生活上の不安の軽減に努め、また地域の関係機関との連絡・調整を行うなど、当院と地域の皆様との連携強化に努めております。

ご相談内容につきましては、個人情報のため秘密厳守いたします。何かございましたら、お気軽にご相談ください。

作成者：諸隈望、大川内智美 作成責任者：正司吏臣

第43回 西日本芸術療法学会に参加して

作業療法科 芸術療法士 森 啓訓

平成26年7月13日(日)に、アクロス福岡にて第43回 西日本芸術療法学会が開催され、シンポジストとして参加してきました。大会テーマは「芸術の療法的性、療法の芸術性」で、過去と今の陶芸療法の違いを明確化する意味で丁度よい機会でもあり、ケースの紹介を交えながら、陶芸療法としての素材と技法、そして作品の意味についてまとめ発表しました。

当院では、昭和43年11月より、絵画療法の対象患者12名、陶芸療法の対象患者13名で芸術療法をスタートしました。翌年3月には、院外から陶工4名を陶芸指導員として採用し、5月より陶芸療法を通じて、将来的に「陶工」への道を志す患者さまのために、社会復帰事業部(以下、事業部)が創設されました。事業部では退院後の患者さまを陶工として実際に採用し、陶器製造業務や完成品の委託販売業務などに平成16年まで携わってもらいました。残念ながら現在は患者さまの高齢化や、陶工として採用された患者さまの病気退職などにより、継続した指導、育成が困難となり、事業部は縮小しております。それからは、陶芸そのものを治療的なアプローチとした療法を中心に実施しており「陶土」という素材と「手びねり」という技法に着目し、焼成された作品も治療的なアプローチとして扱い、取り組んでいます。

今回の発表に際し、院内の様々な方からご助言をいただきました。この場をお借りしてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。今後も、芸術療法士として精進して参る所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。

平成26年度 ふれあい看護体験報告

報告者: 吉武克彦

7月24日(木)当院東2.3病棟においてふれあい看護体験を実施しました。参加者は高校生11名(男性4名、女性7名)の参加でした。

体験内容については、経管栄養や食事介助を見学し、バイタルサインの測定、人形を使つての採血、足浴などを体験していただきました。実際の看護の場面を目にすることや器具類に触れる事、患者さまと触れ合う事で多くの学びがあり、自分の思っているイメージとの違いに驚きや感動もあったようです。

短時間の看護体験ではありましたが、体験後の感想は、看護師は大変な仕事ではあるが、その分やりがいもある仕事であり頑張って看護師を目指したい、今までよりも更に看護の仕事に興味がわきました、患者様に喜んでいただいた事が嬉しかった等の意見が聞かれました。また、今年度より白衣を着用しての看護体験を試みたところ、参加者より「看護師になった気分です」「職員さんよりお疲れ様と声をかけられ嬉しかった」等喜びの声が聞かれておりました。今後もふれあい看護体験を通して、病院での仕事や看護師の仕事について関心を持っていただくように努めていきたいと思ひます。



4月1日より精神科医として勤務しております。

これまで精神科全般の診療に関わってまいりました。ここ5～6年は認知症の疫学調査(地域には認知症の方がどのくらいおられるのか、といった調査)をはじめ、“認知症”に関わる診療中心に診療・活動しております。今後も冷静に丁寧に、そして(できるだけ)笑顔で診療に携わっていきたいと思っております。

また趣味で音楽をしていることもあり、医療と音楽をどうにか結び付けられないか!という思いも秘めております。どうぞよろしくお願い致します。



精神科医 わたなべ いたる
渡邊 至



平成26年度 優良ドライバー表彰

去る5月20日(火)に当会の平成26年度交通安全講習会において永年模範運転者表彰が行われました。職員の南2病棟の須賀優子さん(30年間無事故無違反、千寿荘の上滝みさをさん(20年間無事故無違反)により交通安全(安全運転)に努められた事に対するものです。

嬉野町交通安全協会の古河副会長、中村事務局長に来院していただき、古河副会長より表彰状を贈呈していただきました。

皆さんも交通ルールを守り安全運転に努めましょう。



診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

* 診療時間 ○月曜～金曜
 ○午前の部/8:30～12:30(第1土曜 8:30～12:30)
 ○午後の部/13:30～17:00 ※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

* 休診日/第2・3・4・5土曜、日曜、祭日、年末2日、年始3日間
 * 予約診療/待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。
 ただし、新患、急患の場合は随時受け付けます。

平成26年9月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土	
精神科	新患	精神科一般 菅高 谷口	三根 吉本	谷口 菅高	富松 奥 三根	奥 富松	担当医	
		もの忘れ	吉本・中山	松尾・中山・渡邊	田中・渡邊	松尾・田中		吉本・松尾
		思春期	富松・三根・菅高					
	再来	富松 松尾	田中 谷口	中山 奥	吉本 中山 稲葉	三根 菅高	予約者のみ	
内科		口石	竹下	岡本	林原・口石	榎	非常勤医師	
泌尿器科	午前	倉富	江原	倉富	江原	倉富	予約者のみ	
	午後	事前連絡	事前連絡	事前連絡	事前連絡	事前連絡		
透析センター		江原・井上	江原・井上	江原・井上	江原・井上	江原	井上	
眼科		崎戸(13時～)		崎戸(10時～)		崎戸(10時～)		

* 眼科の診療時間 ○月曜日 午後のみ13:00～17:00 ○水・金曜日 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00



医療法人財団 友朋会
 〒843-0394
 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
 電話:0954-43-0157
 FAX:0954-43-3440
 E-mail: info@yuhokai.com
 URL: http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症患者医療センター 0954-43-0003
- リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- 老人デイケアセンター 0954-43-0233
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわずれメンタルクリニック 092-534-5151
 〒815-0082 福岡市南区大楠2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F